

# News Release

日本をおいしくする

SHOWA

昭和産業株式会社

経営企画部広報課

〒101-8521 東京都千代田区内神田2丁目2番1号  
鎌倉河岸ビル

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成22年 5月14日

## 昭和産業株式会社 平成22年3月期連結決算の発表について

昭和産業株式会社(社長:横澤正克)の平成22年3月期連結決算は、売上高2,093億81百万円、経常利益83億5百万円と減収増益となりました。平成23年3月期の通期連結業績予想としては、売上高2,170億円、経常利益84億円を見込んでおります。

### 【平成22年3月期連結決算】

当連結会計年度の我が国経済は、景気に持ち直しの動きが見られるものの、物価の下落傾向が続くなど、依然として先行き不透明な状況となりました。

食品業界におきましても、穀物原料価格の先行きが不透明な中で、高まる低価格志向の影響を受け、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当グループは平成21年4月より「中期経営計画09-11」をスタートし、5つの基本戦略「①財務体質の強化」「②成長分野への注力」「③基盤事業の再成長」「④グループシナジーの追求」「⑤CSR経営の推進」を掲げ、当グループのさらなる発展に向けた施策を推進しております。

近年の穀物相場の乱高下や消費低迷に対しては、企業体質を強化すべく、全社的なコスト削減を徹底するとともに、天ぷら粉を始めとしたプレミックスや機能性を有する商品群などの付加価値を追求した製品の拡販に努めてまいりました。

これらの結果、穀物相場が前連結会計年度に比べ低位に推移した影響により、連結売上高は209,381百万円と前連結会計年度に比べ31,000百万円(12.9%)の減収となりました。一方、利益面では生産・販売効率の改善による全社的なコスト削減に努めた結果、営業利益は8,610百万円と前連結会計年度に比べ117百万円(1.4%)の増益となり、経常利益も8,305百万円と前連結会計年度に比べ976百万円(13.3%)の増益となりました。

当期純利益は、特別損失に投資有価証券評価損を計上しましたが、3,553百万円と前連結会計年度に比べ883百万円(33.1%)の増益となりました。

### 【平成23年3月期連結決算の見通し】

穀物の一次加工を主な事業とする当グループといたしましては、小麦、大豆、とうもろこし、菜種などの穀物原料相場変動の影響を大きく受けます。一昨年に比較して穀物原料相場の暴騰からは落ち着いたものの、世界的な穀物需要は引き続き高い水準であることから、穀物原料相場は今後も高い水準で推移することが考えられます。また、世界的な経済危機を受けての国内経済情勢は徐々に回復が見られるものの、低価格志向による競争は一層激しくなっており、食品価格に大きな影響を与えております。

こうした状況の中で、当グループといたしましては、引き続き「中期経営計画09-11」の達成を目指し、安全で高品質な製品を提供し、更なるコスト削減、付加価値の高い製品開発に注力することで、こうした厳しい経済環境に対処してまいります。

現時点での通期(平成23年3月期)の業績は、売上高2,170億円、営業利益83億円、経常利益84億円、当期純利益40億円を見込んでおります。

以上

この件に関するお問い合わせ  
昭和産業株式会社・経営企画部広報課(大内英幸)まで  
TEL: 03-3257-2042  
FAX: 03-3257-2097